



Mus

vol.216

2011 February

発行/学校法人 大阪音楽大学

編集/広報誌編集部

〒561-8555 豊中市庄内幸町1-1-8

TEL/06-6334-2131 FAX/06-6334-2141

URL <http://daion.ac.jp>

発行日/2011年2月15日



日野皓正教授退任記念演奏(12月15日)

2015年 楽 創立100周年

CONTENTS

本学吹奏楽団 WASBE国際大会日本代表に2

ジャズの日野皓正教授退任記念演奏 ほか10・11

■大勝秀也氏と牧村邦彦氏がオベ管正指揮者に.....3
■惜しまれ6教授退任.....4
■連載「校史点描」<17>.....5
■特別講義 津軽三味線.....6
■大阪音楽大学の催し.....7
■音楽活動つなぐ地域・卒業生 園田葉子さん.....8
■震災語り部16年 西垣俊朗講師夫妻.....9
■オペラ物知り講座.....12

■ミレニアムホール特別講座.....13
■平城遷都1300年祭で大ブレイク 武田貴絵さん.....14
■入試ナビ 世界最古の劇場で演奏 喜多美幸さん.....15
■兵庫県文化賞 宮本慶子講師.....16
■新刊紹介 香港奮闘記.....17
■CDリリース 青柳いづみこ教授に音楽賞.....18
■幸楽会コンサート.....19
■音楽幼稚園「こどものミュージカル」ファイナル公演.....20

Great Teachers of Wind Band vol.2

本学吹奏楽団

世界吹奏楽協会 (World

Association for Symphonic Bands

and Ensembles 略称WASBE)

が今年の夏、台湾の嘉義市 (Chiayi

City) で開く2011年度国際大

会の日本代表に、本学吹奏楽団が

選ばれました。同協会に提出した

本学吹奏楽団のCDの演奏レベル

や、活動内容が高く評価されたも

WASBE国際大会日本代表に

ので、参加は初めてです。

世界吹奏楽協会は、1981年

に英国・マンチェスターで創設さ

れた吹奏楽のための国際組織。吹

奏楽の指導者、作曲家、演奏家ら

を対象に、吹奏楽の発展と質の向

上、国際交流をはかっています。

2年に1度、世界各地で国際大会

を開き、会期中は世界各国から参

明浄学院高校

吹奏楽部
音楽監督

小野川昭博

(86年大卒
トランペット)

吹奏楽とマーチング。演奏と華やかなパフォーマンス双方に、抜群の強さを発揮する明浄学院高校吹奏楽部。昨年11月の全日本吹奏楽コンクールで銀賞、12月のマーチングバンド・パトントワリング全国大会では金賞に輝きました。

部員160人を率い、選曲から指揮、演奏指導まで音楽面を一手に取り仕切るのは、小野川昭博音楽監督。本学講師をつとめるかたわら、中学校、高校、一般バンドなど現在19団体を指導し、これまで数々の団体を全国大会に導いた実績の持ち主です。創部45年の歴史を誇る明浄学院高校吹奏楽部の音楽監督に就任した94年に、早くも全日本吹奏楽コンクール関西大会で初めての金賞を受賞。98年には



全国大会への出場を果たし、07年と08年の全国大会で2年連続金賞の偉業を成し遂げました。

「今年コンクールで演奏した課題曲の『潮風のマーチ』は、やわらかなサウンドで明浄らしい明るく爽やかな演奏ができました。自由曲の『吹奏楽のためのマインドスケープ』は、本学の高昌帥助教の名曲。人間の心理の表と裏を表した作品に取り組み、生徒も成長したようです。明浄ではパートレックスを中心に、一人ひとりの演奏をチェックして個性をのばし、個人のクオリティを高めようとし

個人のクオリティ高める

ています。さらにパートレックスン↓セクションレックスン↓合奏という形で一つずつ積み重ねていく。生徒とのコミュニケーションを大切に、生徒が自発的にのびのび音楽を楽しめるよう指導しています」と小野川音楽監督。

1月中旬、吹奏楽部の部室を訪れると、2月6日にNHK大阪ホールで開かれる定期演奏会の曲目「グレンバリー・グロブ」の合奏の真っ最中。指揮台の小野川音楽監督は、ハーモニーディレクターを使ってテンポや音程、モティーフを示し、「ゆっくりとした音楽だか



ら、たっぷり息を使つて。伴奏のグループは、二つのメロディーラインを大事に聴きながら、埋めさせないように」と生徒たちが音楽の構造や自分のポジションを意識しながら演奏するよう促しました。全校生徒の約3分の1が吹奏楽部という人気の高さ。セーラー服が清楚な明浄学院の女子高生を虜にする吹奏楽の魅力とは？ 部長の原田みさきさん(高3 オーボエ)に聞きました。「明浄にはおはこの曲があつてその曲はひたすら楽しく、でも真剣に吹く曲は神経を集中する。そのギャップが魅力。各パートを見て、しっかり相談ののってくださる小野川先生は、部員にとつてお父さんの存在です」

7月 台湾・嘉義市で演奏

さらに向上させる同大会開催に向け、早くも歓迎ムードが高まっています。

本学は大学3年吹奏楽クラス(2011年度は4年生クラス)を対象に、参加者を募集。木管・金管・打楽器の合計65人の編成で吹奏楽最大の祭典、WASBE国際大会の晴舞台に臨みます。指揮は北野徹教授。本学は7月6日午後演奏する予定です。

オペラハウス管弦楽団に正指揮者新設

大勝氏と牧村氏が就任

ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団の首席指揮者、チャン・ユンソン氏が10年3月31日付で退団、空席の首席指揮者のほかに新たに正指揮者を設け、正統ドイツの薫り豊かな演奏で名高い大勝秀也氏と、関西で最もオペラの指揮回数が多い牧村邦彦氏の二人が就任しました。不況の影響はオペラやクラシックの世界にも出てきており今後の両氏の活躍が期待されています。

大勝 秀也氏



ドイツを中心にヨーロッパ各地で数多くのオペラを経験してきた大勝秀也氏。オペラハウス初登場は08年のサマー・オペラ モーツァルト・シリーズ。演出は「ドン・ジョヴァンニ」。また、10年に「恋人たちの学校」コジ・ファン・トゥッテ」を指揮、公演を成功に導くとともに、その高い音楽性が絶賛されました。

正指揮者としての初仕事は10年11月に上演した20世紀オペラ・シリーズ「欲望という名の電車」。「この作品はとても複雑な音楽でしたが、オーケストラのみなさんは練

習の時から楽譜をよく見て準備してくれたので、本番は息がぴったり。最高のできでした」と感想を述べています。

今年7月のモーツァルト・シリーズには「魔笛」を振ることが決まっています。演出は岩田達宗氏。どんなモーツァルトが生まれるのか楽しみです。



チャン氏に名誉指揮者称号

学校法人大阪音楽大学はザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団の首席指揮者を退任したチャン・ユンソン氏に12月4日、同管弦楽団名誉指揮者の称号を贈りました。

チャン氏は08年4月に第4代首席指揮者に就任。退任までの約2年間にG・ヴェルディの「リゴレット」、A・オネゲル「火刑台上のジャンヌ・ダルク」などを指揮しました。

理事長で本田耕一常任理事から

牧村 邦彦氏



オペラのレパートリーが約70作品という牧村氏。オペラハウス管弦楽団とは96年3月の川西市民オペラ（現みつなかオペラ）の「カルメン」を皮切りに関西二期会、ニューオペラシアター神戸、関西歌劇団などで約20回の共演歴があります。

―正指揮者についての抱負は

「今、クラシックの置かれている状況はかなり厳しいものがあります。これからは外部での演奏を増やす努力をし、広報部長の役も

こなそうと思っています」

―オペラハウス管弦楽団について

「この数年、オペラハウス以外の場所、このオーケストラと一番多くオペラを共演しているのは私だと思っています。オペラの演奏は歌手にしっかりと寄り添いながら、台本作家や作曲家が実現したかった『ドラマ』を作り上げることにあります。オペ管はこのことを熟知し、そのことを使命として演奏に取り組んでくれている数少ないオーケストラです」

―今後のスケジュールは

4月に守山市民ホール主催の「第九」、9月にみつなかオペラ「ラ・ファヴォリータ」、11月に関西歌劇団の「イル・トロヴァトーレ」などがあります。

称号記を授与されたチャン氏は「予算が厳しいのに自分のそばにはいつも音のバランスをチェックする副指揮者がいて、ありがたかった」と大学に感謝。

「人気作品に押し流されず、夏はモーツァルト・シリーズ、秋は20世紀オペラを長年続けてこれら大学の姿勢には頭が下がります。これからはオーケストラの交流などを通して日韓友好の橋渡しをしたい」とエールを送っていました。

惜しまれ6教授退任

大阪音楽大学の水谷一郎、本岡浩子、柿木功、草野道広、布埜洋子、日野皓正の6教授が3月31日付で退任されます。このうち、4教授から本学での思い出や新しい人生などについて寄稿していただきましたので、紹介します。

水谷 一郎 教授 (作曲)

本学卒業と同時に大学に奉職し、44年になります。付属音楽高校教師時代、創立60周年記念定演で、



当時最先端のシンセサイザーを弦楽合奏に加えたカンタータ「わたげ」の作曲、現在も使われている本学独自のチャイム制作、また、入試事務の電算

本学独自のチャイム制作

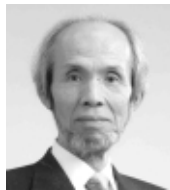
教職員の皆様に感謝いたします。

当時最先端のシンセサイザーを弦楽合奏に加えたカンタータ「わたげ」の作曲、現在も使われている本学独自のチャイム制作、また、入試事務の電算

そして、大学が創立百周年に向けて、更にその後も、時代に即した変容を遂げ発展することを期待してやみません。

柿木 功 教授 (声楽)

大阪音楽大学付属高校2年生に編入学をし、大学卒業後すぐ母校で教鞭をとって44年、通算50年



間大阪音楽大学

学生の個性生かして指導

でなく身近に何でも話

にお世話になりました。卒業すぐの新米教師は年齢の変わらない学生たちの合唱、ソルフュージュの授業を受け持った。

専門の声楽では学生の個性を生かし、型に当てはめない指導をした。学生との交流では新入生歓迎会、門下旅行、ミカン狩り、1月には卒業生も交え現役の学生との新年会、これは今も続いている。教室での先生と学生の関係だけ

本岡 浩子 教授 (音楽学)



大勢の方々に支えられ無事、定年を迎えることができました。皆様、ありがとうございました。

チェンバロ作り音に感激

ことになり、F・クープ

中庭に楽器が鳴り響いていた頃から、練習室が増えて環境を整えていった本学の歩みを知る者として、この土台の上

にさらなる発展を期待してやみません。

25年前の70周年には、キットから作る1台目のチェンバロが完成したばかりで、その音に感激したものでした。「FM放送」で少しだけ聴いてもらおう、という話が周囲から上がってきて、録音する

布埜 洋子 教授 (声楽)



“花はなぜ美しいのでしょうか。それは、一生懸命に咲いているからなのです。”

最後まで第一の人生貫く

こうと思います。

かかれた結婚披露宴の祝辞のひとつが、深く心に残りました。そのひと言は、以来私の人生の大きな指針となりました。

でもいま始まるようにしている私

花はいつまでも美しく咲くことが出来るのでしょくか。今日この日まで、私にくださいます。皆様のご厚情に心からの感謝とお礼を申し上げます。

大阪は商工業都市のせい、こ
と芸術に関しては「もうひとつ」
と言われてきました。そんな中で
1935年（昭和10年）、大阪交
響楽協会が大阪音楽学校校長の永
井幸次らを顧問に大阪交響楽団を
誕生させました。翌36年11月17日
と22日、京都大学オーケストラが
創立20周年を記念し京都、大阪で
ベートーヴェンの第九を演奏。こ
の催しに永井らは全面協力、東京
の独壇場だった「第九」の関西初
演を果たしました。（文中敬称略）
大阪交響楽協会は35年9月15日、

校史点描

〈17〉

創立百周年に向けて

同市東区味原町の大阪音楽学校で
大阪交響楽団の発会式を開きまし
た。発起人は伊達三郎、田中平三
郎、朝比奈隆、吉村一夫ら大阪音
楽学校の教員や関係者をはじめ、
京阪神の音楽家21人。顧問は永井
と大阪市音楽団初代隊長の林亘ら
3人で、指揮者にエマニエル・
メッテルを迎え、オーケストラだ
けでなく、ピアノ、声楽などを含
めて年3回の定期演奏会を開催す
ることを決めました。

一方、京大オーケストラの「第
九演奏会」について、36年7月10

日付大阪毎日新聞。「演奏に少な
くとも二百人のメンバーを要し、
演奏技巧が極めて至難なわが國で
はまだ数えるほどしか演奏されて
いない樂聖ベートーヴェンの不朽
の傑作、第九交響曲（合唱付）を
オーケストラもコーラスも獨唱も

全校賛同し合唱を共演

指揮も全部關西人の手でやっての
けようという痛快なニュース――」

「第九」を関西初演

いまでこそ「第九」は年
末恒例となつていますが、
当時は「特記すべき樂壇的
壮挙」と大きな話題になり
ました。「関西でやろう」
という話は、朝比奈が所屬
していた京大オーケストラ
から持ち込まれました。大
阪音楽学校では永井以下、
全校挙げて賛同。合唱担当
の長井齊・大阪音楽学校教
授は次のように記していま
す。「当時は余り有力な合
唱団もなかったの、バツ

ハのクリスマス・オラトリオやメ
ンデルスゾーンのカンタータを歌
った経験のある大阪コーラル（長
井が主宰）が大阪音楽学校合唱団
と共演する幸運と光栄が与えられ
たことでした」

オーケストラは京大部員と卒業

生ら70人で、大阪音楽学校教授の
田中がコンサートマスターを務め
ました。合唱は大阪音楽学校の生
徒、卒業生と大阪コーラルの15
0人が担当、合唱指揮は長井。独
唱者は大阪音楽学校教授の永井八
重子（ソプラノ）、京都市立堀川



大阪朝日会館で催された大阪公演（19
36年11月22日）

京都と大阪で聴衆殺到

教授の水野康孝（テノール）。指
揮はメッテルがあたりました。

初演は京都市中京区河原町通の
京都宝塚劇場（現在のミナナ京都）。
開演時間の19時30分を過ぎても入
り口の扉が開かない。長井の記述
によると、「何しろ憧れの第九関
西初演とあって、前評判は爆発的
だった。開演が迫っているのに、
ステージではまだ猛練習が繰り返
されていたので、会場前の広場は
詰め掛けた聴衆で埋まり、市電は
そのためにストップ。来場の某宮
様の車が会場へ横付け出来ず、お
歩かせたというので、主催者は
始末書を差し出さなければならな
かったというエピソードまで伝え
られたほどの騒ぎだった」。

「やがて、会場入り口がひらか
れるや、待ちかまえた来聴者は、
いっせいに殺到して、たちまち会
場は文字通り立錐の余地なきまで
に埋まってしまった。大阪朝日会
館（第二夜）の場合も同様で、い
かに第九演奏への憧れと魅力の強
烈であつたかを如実に見せつけら
れた思いがした。合唱部が全曲最
後の句「星空の彼方に神住み給う」
（Über Sternen nu ß er wohnen.）
と歌い終わるや、満堂を揺るがす
大歓声が巻き起こり、演奏者は相
擁して歓喜と興奮の中、感激の涙
に咽んだことであつた」

卓越したテクニクで伝統的な津軽三味線の演奏にとどまらず、異種楽器とのコラボレーションなど新たな邦楽の可能性を追求する

邦楽 津軽三味線 特別講義 木乃下真市



1月13日 F号館434教室

木乃下真市氏が、特別講義を行いました。

津軽三味線のルーツは贅女（ごぜ）の門付け。民謡の伴奏から舞台での曲弾きへ発展するにつれ、

楽器や演奏法も変化しました。従来の「弾き三味線」から、より舞台栄えのする大きな音量を求めて「叩き三味線」の奏法が生まれ、棹や絃は太く、左手が自由に動くよう楽器を立てて構え、速弾きがしやすいよう駒は低く、重く小ぶりの撥を使うようになりました。楽譜や唱歌、口伝に頼らず、師の演奏を耳で盗み、即興性を通じて芸を磨く厳しい世界です。

邦楽専攻生との質疑応答も活発に行われ、木乃下氏は津軽三つ物といわれる「よされ節」「小原節」「じょんがら節」を、りとんやえ渡る音色、湧き上がる情念、目にもとまらぬ速さの撥さばきでダイナミックに演奏しました。

地域ふれあいコンサート10周年

北野さん 活動支えた名プロデューサー

地域ふれあい10周年記念コンサートが12月5日、ザ・カレッジ・オペラハウスで開かれました。豊中市の十中校区地域教育協議会主催で、地域のみなさんと大阪音楽大学が、音楽を通して交流をはかる場として回を重ね、今年10周年を迎えました。第一回目から企画、運営の両面で中心となり、大学と地域の橋渡しに尽力されたのは、

本学出身の北野真祐美さん(82年大卒 作曲)。毎回地域のみなさんの声に耳を傾け、趣向をこらした参加型の催しが好評の地域ふれあいコンサートを、成功に導いた名プロデューサー



大阪音大 学生&豊中市長夢の共演』で、豊中市立第十

豊中市長もクラリネットに参加

第二部は豊中・

池田ファミリー

ルのみなさんによる「子どもから大人の為の《ソング&ダンスショー》」。最後は『みんなで歌おう！』のコーナー。舞台と客席が一つになり、オペラハウスに元氣いっぱい、の歌声が響きました。

1です。今回は10周年を記念して特別に、浅利敬一郎豊中市長がクラリネット奏者でゲスト出演。第一部「十中吹奏楽部&

中学校吹奏楽部や、本田耕一 本学教授指揮の本学クラリネットオーケストラのみなさんと一緒に、「大きな古時計」「クラリネットをこわしちゃった」を演奏されました。

日本画家 上田幸子さんが本学に絵画寄贈

織田信長の墓がある京都・阿弥陀寺にあでやかな天井絵「彩華来迎花浄土之図」を描き、「花の画家」と称えられる日本画家、上田幸子さん

が、本学に自作2点を寄贈されました。



12月20日、ザ・カレッジ・オペラハウス2階ロビーに音楽をテーマに描いた日本画2点、「奏でる」(150号 写真上)と「楽」(100号 写真下)が展示され、当日体調を崩された上田さんの代わりにオペラハウスを訪れ

には、天に昇る甘美な音楽への憧れがこめられているそうです。コンサートの合間、ぜひ2階ロビーの新しい絵もご覧ください。

た娘の清水文子さんに、中村学長から感謝状が贈られました。「奏でる」と「楽」は、上田さんが京都の鴨川のほとりを散歩中、学生がベンチで楽器を練習している姿にインスピレーションを得て描いた幻想的な作品。画中の金箔銀箔は管楽器の響きやリズム、リコーダーを奏でる長い指や、夢みるように漂う妖精たちの

大阪音楽大学の催し

大阪音楽大学 第42回吹奏楽演奏会

2月27日(日)14時 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール
入場料 1000円 指定席

【チケット取扱い】

チケットぴあ ☎0570-02-9999 Pコード125-709

大阪音楽大学コンサート・センター ☎06-6334-2242

指揮 丸谷明夫 北野徹

演奏 大阪音楽大学吹奏楽団

D.ショスタコヴィチ:祝典序曲

兼田 敏:日本民謡組曲「わらべ唄」

2011年度全日本吹奏楽コンクール課題曲より

P.A.グレインジャー:リンカンシャーの花束

高 昌帥:マインドスケープ ウインドオーケストラのための

O.レスピーギ:交響詩「ローマの祭り」(森田一浩編曲)

2010年度大阪音楽大学大学院1年 修士リサイタル

ミレニアムホール 入場無料(要整理券)

第一夜 2月22日(火)18時

音楽学研究室 奥坊由起子

作曲研究室 杉本 悠 松本栄成

第二夜 2月28日(月)18時

ピアノ研究室 井上いづみ 福田容子

第三夜 3月1日(火)18時

ピアノ研究室 田中奈都江 加門祐香里

第四夜 3月4日(金)18時

オペラ研究室 岩瀬昌弘(バリトン)

歌曲研究室 辻村明香(ソプラノ)

管弦打研究室 飯田裕貴(ユーフォニウム)

第五夜 3月8日(火)18時

歌曲研究室 樋川 綾(ソプラノ)

オペラ研究室 小林 峻(テノール) 南 美里(ソプラノ)

第42回 ミレニアムホール特別講座

『クラリネット「解体新書」!』

2月26日(土)14時 ミレニアムホール

講師 日下部吉彦

演奏 クラリネット 上田希 ピアノ 藤井快哉

受講料 1000円 *事前の申し込みが必要です。

<申し込み・問い合わせ>エクステンション・センター

☎06-6334-2251 FAX06-6334-2542

大阪音楽大学2010年度卒業演奏会

第一夜 3月16日(水)18時 ザ・カレッジ・オペラハウス
入場無料(要整理券)

第二夜 3月17日(木)18時 ザ・カレッジ・オペラハウス
入場無料(要整理券)

オルガン卒業演奏会 3月16日(水)15時 K号館209 パイプオルガン室
入場無料(自由入場)

大阪音楽大学短期大学部 第16回吹奏楽演奏会

3月6日(日)14時 ザ・カレッジ・オペラハウス

入場料 1000円 自由席

指揮 丸谷明夫 小野川昭博

演奏 大阪音楽大学短期大学部吹奏楽団

酒井 格:The Seventh Night of July(たなばた)

2011年度全日本吹奏楽コンクール課題曲より

G.ホルスト:吹奏楽のための第一組曲

A.リード:アルメニアン・ダンス・パート1

F.ティケリ:シェナンドーア

N.ヘス:イーストコーストの風景

大阪音楽大学・大阪音楽大学短期大学部 第8回ザ・ストリング・コンサート

3月9日(水)18時 ザ・カレッジ・オペラハウス

入場料 1000円 自由席

指揮 上塚憲一

演奏 大阪音楽大学/短期大学部弦楽器専攻生

A.ヴィヴァルディ:協奏曲集「調和の靈感」

4つのヴァイオリンのための協奏曲 ロ短調 作品3-10

W.A.モーツァルト:ディヴェルティメント ニ長調 K.136(125a)

J.S.バッハ:3つのヴァイオリンのための協奏曲

ニ長調 BWV1064R

P.I.チャイコフスキー:弦楽セレナード ハ長調 作品48

ザ・カレッジ・オペラハウス第26回推薦コンサート 19世紀から現代へ

～架け橋となった作曲家たち～

3月22日(火)19時 ザ・カレッジ・オペラハウス

入場料 一般2000円 シルバー・小・中・高校生1000円

自由席 *幸楽会、付属音楽院会員はシルバー料金と同額とします。

ソプラノ 三村浩美 南奈緒

ピアノ・ソロ 森上美美子 原真奈美

バリトン 福嶋勲

A.シェーンベルク:3つのピアノ曲 作品11

F.ブーランク:歌劇「人間の声」

G.C.メノッティ:歌劇「電話」 ピアノ伴奏 関口康祐

S.バーバー:ピアノ・ソナタ 変ホ短調 作品26

監修/中村敬一

大阪音楽大学短期大学部 2010年度卒業演奏会

第一夜 3月14日(月)18時 ザ・カレッジ・オペラハウス
入場無料(要整理券)

第二夜 3月15日(火)18時 ザ・カレッジ・オペラハウス
入場無料(要整理券)

◇大阪音楽大学主催演奏会のチケットは電話、Fax、はがきでコンサート・センターへお申し込みください。ホームページからもお申し込みいただけます。
http://daion.ac.jp [大阪音楽大学コンサート・センター] 〒561-8555 豊中市庄内幸町1-18 ☎06-6334-2242 FAX06-6334-2164

音楽活動つなぐ地域。卒業生

「歌って、踊って、ドラムでハッピー！」をテーマに在校生と卒業生、学校と地域をつなぐ音楽活動を続ける豊中市北緑丘2丁目、大阪府立豊中支援学校「D・D・D・クラブ」。その代表者を務めるのが同校指導教諭の園田葉子さん（78年大卒・声楽）です。昨年2月には「D・D・D・クラブ」の活動に対してパナソニック教育財団から09年度「こころを育む総合フオーラム」全国運動で近畿ブロック大賞が贈られました。

園田さんは本学卒業後、中学校教諭になり、18年前に同支援学校に赴任しました。そして9年前、当時の高等部3年生が、卒業を前に楽しく過ごした学校生活に何か残したいと制作したのがオリジナルソング「トラップdeとよなか」。

作曲は園田さんで、流行っていたラップを取り入れ、学校の1日の流れ、給食の様子、校歌、仲間への思いを歌詞に詰め込んで完成させました。今では同支援学校の愛唱歌として、音楽の授業だけではなく学校内外のイベントで定番の1曲になっています。現在、小学、中学、高等部で約260人の児童、生徒が在籍していますが、みんな

府立豊中支援学校 D.D.D.クラブ

この曲を踊ることが大好きです。「D・D・D・クラブ」（ドラム、大好き、大集合）の結成は3年前。同校高等部では数年前からドラム演奏が生徒たちの人気を集めています。07年はプロのドラマーに来てもらい、ドラムワークショップ



D.D.D.クラブのドラムライブ。42人の在校生と卒業生がドラム演奏を披露（右が園田指導教諭（2010年7月、PTA主催の夏祭り）

を使った映像教材をチームで開発し、でき上がったのがドラム教材「DVDポチポチ版」です。この実践研究については、09年度パナソニック教育財団からの助成を受けて取り組み、成果をあげています。現在、学校には5台のドラムセットが常設されており、「ドラムを叩きたい」という生徒たちが授業時間だけではなくお昼休みにも練習を楽しんでいます。その様子は「D・D・D・クラブ」の活動として、昨年9月に豊中ケーブルテレビで一週間放映されました。

また園田さんは、「映像教材を活用した音楽活動」というテーマで府教育センターが主催する研修会などで講師も務めています。

同支援学校高等部では「いざ、ステージへ」を合言葉に、ドラム

園田先生（78年大卒）指導 大賞も受賞

ワークショップを行いました。「プロとの出会いが生徒たちの意欲を引き出したかけがえのないチャンスだったと実感しました」と園田さん。本年度は11回ものドラムやダンスのワークショップを実施しました。

「本物の感動」で意欲を引き出された生徒にとって、次に必要だったものは「分かりやすい教材」。そこで、ICT（情報通信技術）

を軸としたいろいろな舞台発表に取り組んできましたが、障がいのある人の自立支援を進めることを目的に開催される豊中の「素のままフェスタ」もその一つ。今年も3月5日に豊中市民会館大ホールで予定され、在校生や卒業生らは「いっしょに歌って踊ってドラムで盛り上がりましょう」と今から楽しみにしています。

〈参考〉「D.D.D.クラブ」プログ タイムリーな情報をお届けします。「トラップdeとよなか」や「ポチポチ版」はYouTubeでもご覧になれます。http://web.me.com/masaso/ddddclub/

出張授業 箏曲への誘い 府立藤井寺支援学校で



本学講師による邦楽の出張授業「箏曲への誘い」が12月14日、大阪府立藤井寺支援学校（杉野美智子校長、藤井寺市川北2丁目）でありました。高等部1・3年生約50人を前に、演奏したのは片岡リサ（箏）、小牧万須美（三絃）、星田一山（尺八）の3講師。支援学校での出張授業は初めてです。邦楽を聴く機会が少ない生徒た

ちの前で演奏し、実際に和楽器に触ってもらおうと企画しました。まず、箏コーナーでは片岡講師が「六段の調」より初段と、宮城道雄作曲の「汽車ごっこ」「せきせい」を披露。三絃コーナーは小牧講師が地歌の「八千代獅子」を、尺八コーナーでは星田講師が本曲の「木枯」をそれぞれ演奏しました。箏の体験コーナーでは3人の生徒が片岡講師の指導で「さくらさくら」を弾き、最後にみんなで「ジングルベル」を合唱しました。



阪神大震災で亡くなった人たちの鎮魂と街の復興を願い、毎年12月に行われている「神戸ルミナリエ」。16回目の昨年は本学と神戸芸術工科大学などの学生が連携し、

学生らルミナリエ応援

震災の記憶を次の世代へ語り継ぐためのイベントに参加しました。学生有志33人による「LONGS」合唱団は、里井宏次教授の指揮で歌声を披露、19の演奏グループ計61人もクラシックなどを演奏し、「震



災の語り部」の人たちと共演しました。期間中はさくらフィルハーモニー管弦楽団で指揮者を勤める末岡修一郎さん（09年大卒・作曲）、ピアノリスト福田正人さん（09年短卒・ピアノ）ら卒業生も応援に駆けつけ、演奏を盛り上げました。合唱に参加した鹿岡晃紀さん（大1・声楽）は「追悼演奏を通じて、改めて命の尊さを感じることができました」と話していました。

「いつ来るかわからない震災、そして薄らいでいく記憶。これからも音楽を通して心に残る一頁を綴っていきたい」と西垣さん。

西垣講師夫妻 震災語り部16年

がて、あちこちで火災が発生。火は容赦なく3人に迫ってきます。

「ごめんな、火が来たから逃げるわな。ほんまに、ごめんやで」

まだあどけなさが残る少年は、このとき中学3年生。お父さんとお母さんの言葉に何と答えたと思いますか。

くともしません。や

迫る炎「みんなに会えてよかったわ」

「もう少しの辛抱や。頑張るやで」。瓦礫の下敷きになっている息子を助け出そうと、お父さんとお母さんが力の限りを尽くします。しかし瓦礫はび

「みんなに会えてよかったわ。みんなの声聞けてよかったわ」彼は、そう言って炎の中に消えていったそうです。

阪神大震災から16年。自らは15



歳の甥と12歳の姪を亡くした本学講師のテノール歌手、西垣俊朗さんは今も震災の語り部としてこの少年の話を語り続けています。昨年12月24日のクリスマスライブ。西垣さんは大阪府東大阪市の長堂小学校（中山右校長）にいました。

の児童たち「サングタが町にやってくる」「ねこの二重唱」「千の風になつて」などの歌をプレゼン



妻でソプラノ歌手の千賀子さん、ヴァイオリン木田雅子さん（本学講師）、オーボエ大島弥州夫さん（演奏員）、ピアノリスト藤江圭子さん（武庫川女子大）も一緒です。5人は体育館に集まった349人

40会場コンサート

ト。演奏の合間に西垣さんはあの少年のことを紹介し、「ここにいるみんなが、このお兄さんのように他人を思いやる優しい人に育ってくださることを願っています」と語りかけます。目を真っ赤に腫らす子どもたちがいました。

初めてのコンサートは地震発生から1カ月後。神戸市長田区のJR高架下にある倉庫の中でした。伴奏は倒壊した民家から運び出された傷だらけのピアノ。それでも子どもからお年寄りまで約50人が集まり、2人の歌に耳を傾けてくれました。「生きていく勇氣と元氣をいただきました」と主婦たち。

05年には神戸の復興をたたえる応援歌「神戸、わが夢のまち」が完成。これまでに訪れた会場は兵庫、大阪の小、中学校、公民館など40近く上っています。

コンサート



第一部は演奏者が編曲。P・デュカスの交響詩「魔法使いの弟子」や中・高年の人たちにとって懐かしいP・ブラードの「MANBO No.5」などを演奏。また、今井麻友美さんは自作の「ESCAPE!!」を披露しました。

第二部では、演奏者全員で編曲し

たというS・ネスティコの「NIGHT FLIGHT」を弾き終わった後、司会者が「花火をしたり、けんかしたりしながら練習に励んできました」と演奏会までの内幕を紹介。フィナーレには森本友紀講師編曲・指揮でG・ガッシュインの「Rhapsody in blue」を7人が挑みました。

コンサート

ドラマシティ



日野皓正教授さようならライブ



会場には日野教授を慕う教え子やジャズ・ファンが詰めかけ、なごやかな雰囲気

音楽の道場破りを

かけ、ジャズ・プレーヤーとして大きく成長した姿に「いつの間にこんなにうまくなっちゃったの」と笑顔がほころぶ日野教授。最後にこんなメッセージをいただきました。「大事なものは卒業した後。さむらいの武者修行みたいに、どこでもいいから出て行って、演奏の場数を踏む。一音に命をはって、音楽の道場破りをするのだね」

「若者にジャズの魂伝えたい」と2000年4月、本学ジャズ・コース初の教授に就任された世界的なジャズ・トランベッター、日野皓正氏。以来11年間、学生の指導に情熱を傾けてこられたが今年3月退任されるにあたり、退任記念演奏が、12月15日、学生サロン「ばうぜ」で行われました。

現在プロとして活躍する卒業生や、在学生、宗清洋元講師や、木村知之、東敏之、石井彰講師ら教員が、日野教授と、チャールリー・パーカーやセロニアス・モンクのジャズ・ナンバーをセッション。アドリブソロで日野教授の灼熱のトランペットが響くと、一段と大きな拍手がわきあがりました。一緒に演奏した学生や卒業生一人ひとりに声を



第25回 推薦コンサート

1月16日 ザ・カレッジ・オペラハウス



ピアノ三重奏とピアノ四重奏。同じ室内楽でも、両者は異なる味わいを持つています。結成13年を迎える松村則子&八軒康浩弦楽四重奏団(ピアノ 松村則子 ヴァイオリン 八軒康浩本学講師 ヴイオラ 辻田結城彦 チエロ 高瀬

八軒康浩とその仲間たち



電子オルガンコース・コ

1月9日 ザ・カレッジ・オペラハウス



恵理也)のみなさんが、P・I・チャイコフスキーのピアノ三重奏曲「イ短調 作品50」「偉大な芸術家の思い出」と、J・ブラームスのピアノ四重奏曲 第1番 ト短調 作品25を演奏。死者を悼み、懐かしむ感情が哀切なメロディーにはとほしり、ソリストイックな技が際立つチャイコフスキー、「二万アンサンブルの豊かさ、緻密

アンサンブルの妙たつぷり

さが知的な楽しさを誘うブラームス。艶やかに熟成された響きで、両者の魅力を堪能させる演奏会でした。八軒講師 今日のプログラムは2曲ともがメーソンの大曲。トリオとクアルテットでは世界が全然違います。チャイコフスキーのトリオは、それぞれがソロのぶつかり合い、ブラームスのクアルテットはより室内乐的表現を重視し、ブラームス独特の響きを追求しました。

また、専攻科修了コンサートや、塩谷信廣教授が「欲張ったプログレス演奏しました。」

第一部はカナダ・カルガリー冬季オリンピックのために作曲された「Winter Games」で幕開け。昨年のグラミー賞「最優秀アルバム賞」を含む4部門でノミネートされた「Teenage Dream」などを演奏しました。

ポピュラーコース・コ

1月29日 梅田芸術劇場シアター



大阪市北区の梅田芸術劇場シアター・ドラマシティは、設立19年になるポピュラー・コースが初めて公演するホールです。

第一部では米国の映画「Sex And The City II」のテーマ曲「Movie Theme」などを演奏。最後は韓国からの留学生サムエル(康基勳さん)が、米国の公民権運動の指導者、キング牧師のスピーチ「I Have A Dream」を歌詞にした自身のオリジナル曲「Free At Last」を熱唱し幕を閉じました。

第一部はカナダ・カルガリー冬季オリンピックのために作曲された「Winter Games」で幕開け。昨年のグラミー賞「最優秀アルバム賞」を含む4部門でノミネートされた「Teenage Dream」などを演奏しました。

第一部では米国の映画「Sex And The City II」のテーマ曲「Movie Theme」などを演奏。最後は韓国からの留学生サムエル(康基勳さん)が、米国の公民権運動の指導者、キング牧師のスピーチ「I Have A Dream」を歌詞にした自身のオリジナル曲「Free At Last」を熱唱し幕を閉じました。

オペラ物知り講座 第6期

お話 中村敬一講師



オペラ物知り講座「裏方さんシリーズ」の4回目は指揮者の仕事。関西圏で最もたくさんのおペラを振っているマエストロ牧村邦彦さんの登場です。マエストロは表の仕事と想像がちですが、実は見えないところでオペラの音楽作りに汗を流してくれています。講座の後半には大学院生に実際に稽古を付けてもらいながら、マエストロの舞台裏の秘密を明かします。ゲスト歌手は牧村さんとの共演が多く、今一番脂が乗っているソプラノの平野雅世さんです。

指揮者の仕事

牧村 邦彦さん



牧村邦彦さんのプロフィール

91年から13年間、大阪シンフォニー交響楽団指揮者を務め、数百回の演奏会に出演。自らの企画構成によるオペラ上演にも情熱を注ぎ、99年2月「蝶々夫人」のミラノ初演版を関西で初演、翌年11月に改訂再演し大阪文化祭賞本賞を受賞。94年から99年にはザ・カレッジ・オペラハウスの専任合唱指揮者として「金閣寺」など数々の公演をサポート。現在、関西歌劇団専任指揮者、オペラハウス管弦楽団正指揮者。本学大学院講師。

宴に加えて、ホールの上演形態に新たな可能性を切り開いた」というのが受賞理由。

作曲家が望んだ大きな公演のほかに、身の丈に合った公演があつていいんですよね。みつなかホールの活動は日本オペラのサゼスチョンになるのかな、と思っています。「地方に行くとオペラを観たことがない人がほとんどです。オペラの楽しさを知っていただくためにこれからも様々な方法でオペラを発信していきたいですね」

— 牧村さんは指揮者の仕事だけではなく、オペラ上演の企画面でも活躍されています。昨年3月に川西市のみつなかホールで上演された歌劇「アイダ」は好評でした。500席に満たない小さなホール。苦勞されたでしょう。

「普通は90人ほどのオーケストラが必要ですが、ピットには30人ちょっとしか入らない。小さな劇場用に編曲し直したりして。合唱団も通常の半分で50人ぐらい」

— アイダの魅力は兵士や合唱団が溢れ出るように出てくるところにあります。一番おいしいところは実はソリストの歌ですね。

「おっしゃる通りです。オペラだからといって何も大きな劇場の必要もないし歌い手が二人、あるいは三人いれば十分オペラを楽しめるんです。実は一月にこの「ア

お金より頭使う時代



「アイダ」の公演でみつなかホールが第31回音楽クリテック・クラブ賞奨励賞をいただきました」

「牧村さんの指揮で演奏はザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団。アイダ役の平野さん、ラダメスの小餅谷哲男さんから主役級4人は大音卒業生。「小ぶりのホールの特徴を生かし、主役4人の歌の響

い時代を迎えましたが。 — オケストラの演奏会ならオケがいて指揮者がいれば、楽譜の再現はできるんですが、オペラは違います。演出家も指揮者もお金を使って大きなことをドーンとやれたのは昔のこと。これからは頭を使つていい作品を残していかなくては、オペラは生き残れません」

— みつなかホールがそのいい例。 「ここはもっと高揚する様子を歌わないと。シンブル過ぎます」 「青年がどきどきしながら告白するような感じで。もっとコントラストを付けて」。時には声を大きく、そして優しく。

講座の最後は「蝶々夫人」の「ある晴れた日に」。平野さんの熱唱に大きな拍手が続きます。

今回はチェリスト上塚憲一准教授、リユート奏者・高本一郎さん（付属音楽院講師）の演奏を交えながら、チェロ誕生の歴史に迫ります。

チェロが独奏楽器として世の中に出た最初の曲はD・ガブリエリの「チェロと通奏低音の為のソナタ」ではなかったか。それまでのチェロは通奏低音といって低音のパートを、それも補足的に受け持

ミレニアムホール特別講座

チェロ誕生の物語

お話 日下部吉彦（客員教授）



12月11日 ミレニアムホール

ち、どちらかといえば脇役でしかなかったのが、この曲のお陰で独奏楽器として主役に躍り出しました。17世紀のころの話です。

A・ヴィヴァルディもまた「チェロと通奏低音の為のソナタ」という曲を書いています。ガブリエリはチェリスト、ヴィヴァルディはチェロ奏者ではなく作曲家。作曲家がチェロの曲を書くようになってしたのはチェロがソロ楽器として

の地位を確立したからではないか。

チェロの地位をさらに持ち上げたのはJ・S・バッハ。6曲の「無伴奏チェロ組曲」を書いていますが、意外なことに180年間埋められたままで音楽史の中に登場しなかったんですね。この曲の価値を再発見し、広く世の中に紹介したのがスペイン出身のチェリスト、パブロ・カザルス（1876・1973年）でした。

彼は大変な平和主義者。94才のときにニューヨークの国連本部で「鳥の歌」をチェロ演奏し「私の生まれ故郷カタロニアの鳥はピース、ピースと鳴くのです」といったことでも有名ですが、バッハを再発見しチェロを表舞台に出したことは音楽史にとって大きな功績だったといえます。

上塚准教授と高本さんは、バロック・チェロとエンドピンがついているモダン・チェロ。さらにチェロよりもずっと古く、古代エジプトの絵画にも描かれているリュートやバロックギターなどを準備し、ガブリエリとヴィヴァルディの「チェロと通奏低音の為のソナタ」、バッハの「無伴奏チェロ組曲」（チェロ独奏）、O・レスピーギ「シチリアーナ」（リユート独奏）などを演奏しました。

長浜でビギナーズ・オペラ開講

「湖北にオペラの芽を」と自ら合唱団を主宰し、意欲的に取り組む本学出身の岡本亜由美さんの発案で、長浜音楽協会主催の大阪音楽大学カレッジ出張講座「ビギナーズ・オペラ」が、11月に開講しました。中村敬一本学講師の解説で、オペラの誕生からワグナーまで、4回シリーズ。毎回本学出身の若手実力派の歌手が、オペラの名曲を披露します。会場は滋賀県・長浜市のリユートプラザ。

12月18日に行



われた第2回「ロマン派のイタリヤ」では、中村講師がロッシーニやヴェルディのオペラを紹介。テノールの中川正崇さんが岡本佐紀子さんのピアノで、コロラトゥーラが軽やかなロッシーニと、華やかで力強いヴェルディの作品を歌い分けました。

人気のワンポイント・レッスンでは、岡本さんが松島直子さんにシヨパンのピアノ曲を、中村講師と中川さんが、岡本さん主宰の合唱団「クオーレ北湖」のみなさんを指導しました。最終回は3月26日です。

西本さんとオペ管 南座でジルベスター・コンサート

雪の降りしきる12月31日、京都・南座で、国際的に活躍する指揮者、西本智実さん（94年大卒 作曲）と、ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団が共演する粋なコンサートが開かれました。歌舞伎の殿堂、和の空間にクラシック音楽が満ちる「西本智実in南座 ジルベスター・コンサート大晦日大演奏会」。



ドヴォルジャークの「新世界より」や、コシノヒロコさんデザインの振袖を着た歌手と共にオペラ「蝶々夫人」の ariaや二重唱を演奏（スズキは児玉祐子さん）。フィナーレには劇場の扉を開け放ち、管弦楽団の朗らかな行進曲が四条通りに響きました。

「遷都1300年祭」で大ブレーク

東南アジア、米国、日本を駆け巡るポピュラー・ヴォーカル武田貴絵さん（03年短卒・ステージネームRuH）。昨年は平城遷都1300年祭の応援ソング「恋都」（こいと）がカラオケ配信されたり、バイリンガルを生かした物怖じしないキャラが「なら国際映画祭2010」のスタッフの目にとまり映画祭の司会を任されるなど、大ブレークの年でした。武田さんのこの1年を振り返ってみました。

大学卒業後、香港、台湾、米国、シンガポール、フィリピンなどを拠点にソロ活動を行ってきた武田さん。09年にはシンガポールとアメリカ生まれの男性と組んで多国籍バンド「World of SPY」を結成しました。

武田 貴絵さん

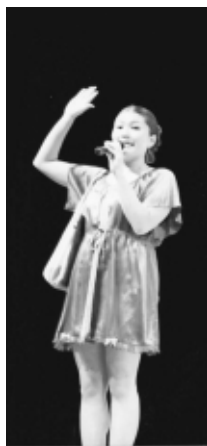
（03年短大・ポピュラー・ヴォーカル）

「海外に出て5年。そこで気がついたのは奈良ってすごいなということ。1300年前の文化が今も延々と受け継がれているんですから」。奈良の



河瀬直美監督（右）とツーショット

魅力を世界中に発信したい、という思いが募り、そこで出来上がったのがバラード調の遷都1300年祭の応援ソング「恋都」でした。



歌を通して新しい発見

武田さんは09年末に「恋都」を携え、活動の拠点をフィリピンからふるさと奈良に移りました。「誰に頼まれたわけでもありません。勝手に作り、勝手に押し付けてきちゃいました」。奈良市観光協会が「恋都」を全面応援してくれたことで「World of SPY」の知名度は次第に高まっています。

3月には奈良・信貴山、5月に



は1300年祭のメイン会場「まほろばステージ」（平城宮跡）でパフォーマンスを披露。5月と8月には大音出身の山田紗耶加さん（79年短大卒・音楽専攻）から声

がかかり、香川と大阪の平和の祈り被爆ピアノ・コンサートにソロ出演、そしてFMラジオ、母校での講演会など、忙しい日々が続きます。5月8日に奈良市内で開かれた「World of SPY」のワンマン・ライブのこと。武田さんはライブ終了後、会場に来ていた「なら国際映画祭2010」のスタッフから「喋りがおもしろい。映画祭の

司会をやってみないか」とスカウトされたそうです。

「バイリンガルを生かしたインターナショナルなトークが気に入ってもらえたんでしょね。ぜひやらせてください、とお願いしました」

この映画祭は07年のカンヌ国際映画祭でグランプリを受賞した奈良在住の映画監督・河瀬直美さんの提唱で実現しました。猿沢池と興福寺の間には「五十二段」のレットカーペットが敷かれ、8月の古都が一瞬にして「映画のまち」に変わりました。

「司会は初めて。おもしろそうなので引き受けたらなんと総合同会。でも河瀬監督や女優の桃井かおりさん、外国の監督さんたちとお話ができ、すばらしい経験をさせていただきました」

2010年は武田さんにとって飛躍の年でした

「去年は平和コンサートや司会のお仕事など、いろいろなことを経験させていただきました。また、秋には東北地方で初めてのライブも成功し、すばらしいスタートポイントに。今年は私自身によるイベント・プロデュースにも力を入れたいですね。音楽を通して日々、新しい発見をしながら、歌の世界を楽しんでいます」

こんにちは、受験アドバイザーのともみです。進級、進学の手続きの季節



になりまして。高校生のみなさんは希望と不安で胸をいっぱいにしていることでしょう。

生活環境が変わる方もいるかもしれませんが。新しい出会いが待っています。入念に準備して、目標に

一般入試B日程は3月22・23日

向かって大きな一歩を踏み出しましょう。

11年度一般入試試験B日程

試験日 3月22日(火)～3月23日(水)
出願期間 3月14日(月)～3月16日(水) 郵送必着
3月17日(木) 9時～13時 窓口持参のみ

試験科目 専門実技課題と面接

募集人員は少ないですが、実技が優秀で学修意欲の高い方を募集します。詳細は入試要項をご覧ください。

なお、ジャズ、ポピュラー、電子オルガン各コースの募集はありません。

第62回音楽基礎科目到達度テスト

実施日 3月23日(水)

申込期間 2月24日(木)～3月2日(水) 郵送必着

本学へ進学を希望する高校2年生以上の方を対象に第62回音楽基礎科目到達度テストを実施します。

本学では、ソルフェージュ・楽典・鍵盤楽器の3科目を音楽基礎科目と総称しています。音楽基礎科目は、音楽を専門に学んでいく上で必要な音楽の基礎能力である

一般入試B日程は3月22・23日

と位置付けています。このテストは、音楽基礎科目の学習到達度を調べるものです。所定の成績を修めた科目は認定とし、その科目は入学試験の際、試験を免除します。

体験レッスン&学校説明

本学教員による体験レッスン&学校説明「Miss大阪音楽大学」を4月から9月にかけて各地で開催します。対象は音楽大学をめざす中学生以上の方です。体験レッスン、学校説明、コンサート、個別進学相談を通して、音楽大学を身近に体感してみませんか。現在、申込受け付け中です。申込方法、開催スケジュール等は、本学HPをご覧ください。

世界最古の劇場で演奏

喜多 美幸
(94年大卒・ソプラノ)



「アトロ・オリンピコ」(1585年完成)でブッチーニを歌わせていただきました。昨年7月のことでちょっと古いのですが報告させていただきますね。



イタリア北東部のヴィチエンツァ市にある世界最古の屋内劇場「アトロ・オリンピコ」(1585年完成)でブッチーニを歌わせていただきました。昨年7月のことでちょっと古いのですが報告させていただきますね。

きっかけは日本イタリア協会が主催する「Concorso Music Arte」。音楽を通してイタリアと日本の懸け橋になった故中川牧三氏を称えるためのコンクールで、その記念すべき第一回目に出場し金賞を受賞した私は、ご褒美にテアトロ・オリンピコで開かれた「世界遺産国

際フェスティバル」に出場させていただきました。古代ローマ時代の円形劇場を模したテアトロ・オリンピコは、現存するルネサンス期の唯一の劇場。中庭にはヴェルディ劇場にあつた彫像が建ち、劇場内には様々なフレスコ画や彫像が並び、なんと美しいことか。

コンサートが行われたのは7月28日。サマータイムの最中で夜9時開演。夕方劇場入りした私は、しばし場内の散策を楽しみました。かつて、ナポレオンやゲーテも訪れたことがあるテアトロ・オリンピコは、どこを見回しても美しい彫刻に囲まれており、ホール全体が芸術作品。その中に立つていると、自分自身が作品の一部に溶け込んでいくような不思議な感覚にとらわれるのです。

コンクール (敬称略)

■第13回“長江杯”国際音楽コンクール
アンサンブル部門一般の部A 3位(1、
2位なし) 長谷川美聡(08年大卒・フル
ート)、小澤征吾(09年大卒・クラリネット)
= 8月15日、ピッコロシアター。中国音楽
理事会主催

■2010年第7回かやぶき音楽堂デュオコ
ンクール A部門1台のピアノによる四手
連弾デュオの部 優勝 木村貴子(92年院
修・ピアノ)、關口康祐(04年大専修・ピア
ノ)=11月7日、かやぶき音楽堂。かやぶ
き音楽堂デュオコンクール実行委員会主催

■第8回かがりの里音楽コンクール ピア
ノ2台の部 1位 秋本久美、阪田阿沙美
(いずれも03年大卒・ピアノ)=11月7日、
楠徳寺・かがりホール。かがりの里音楽コ
ンクール実行委員会主催

■第16回KOBЕ国際音楽コンクール C部
門管楽器の部 最優秀賞、兵庫県教育委員
会賞、タカハシパール賞 細川真美(大4・
トランペット)=1月8日、神戸文化ホー
ル。KOBЕ国際音楽コンクール実行委員会。



長谷川美聡



小澤征吾



木村貴子



關口康祐



秋本久美



阪田阿沙美



細川真美



世界中で教え子活躍

関西におけるマリンバ音楽の草
分けで知られる宮本慶子講師が2
010年度兵庫県文化賞を受賞し
ました。演奏活動と後継者育成一
筋に50年。その功績が高く評価さ
れました。

「ふくよかで温かい音色。それ
に華やかな演奏スタイルがなんと
もいえない魅力」という宮本さん。
本学の付属高校時代から才能が認
められ、一時はマリンバ界の「美

マリンバとともに50年
宮本講師に兵庫県文化賞

空ひばり」といわれたほど。61年
には宮本慶子一門の会「神戸マリ
ンバソサエティ」を結成。教室の
数も今では関西一円に三十数カ所
に増えています。

中国との国交回復後の79年には
神戸市の使節団として中国で演奏
し、初めてマリンバを紹介しまし
た。03年に本学講師、08年から兵
庫県音楽活動推進会議代表を務め
ています。

教え子の数は500人を超え、
この中にはヨーロッパを拠点に世

清松さん パドヴァ音楽コン3位

第8回パドヴァ国際音楽コンク
ールがイタリア・パドヴァ市で行
われ、清松優記子さん(07年大卒・
ピアノ)が3位入賞を果たしまし
た。

清松
さんは
卒業後、
ハンガ
リー国
リス
ト音楽院に留学、パドヴァ国際音
楽コンクールではヴィルトーゾ部
門に出場し、アレクサンドル・ス
クリャービンの「ピアノ・ソナタ
3番」を演奏しました。

界で活躍する相澤睦子さん(84年
大卒、現在ブラハ芸術アカデミー
客員教授)、和太鼓松村組代表・
松村公彦さんらがいます。
00年に芸術文化団体・半どんの
会文化功労賞、03年に神戸市文化
賞などを受賞。

「この50年は演奏、楽器の改良、
若手演奏家の育成など、マリンバ
の歴史そのものでした。世界中で
活躍する教え子たちの成長を見守
りながら、これからもマリンバの
地位向上に努めます」と宮本さん。

独特の雰囲気 勉強に

4つの楽章で構成されたこの曲
は、楽章ごとに色々なカラーがあ
るドラマチックな曲。中
でも終楽章は溜め込んでいた
思いが一気に溢れ出たよう
な情熱的な曲調で、難曲と
されていますが、清松さん
は情感豊かに演奏し、3位
に入りました。
海外でのコンクールは今
回が初めてという清松さん。
「雰囲気も海外特有のもの
があり、とてもいい勉強に
なりました。これからの様々なコ
ンクールに挑戦してみたい」と話
していました。

「水のまなざし」

青柳いづみ教授

青柳いづみ教授が昨年10月に初の小説「水のまなざし」(文藝春秋、1470円)を出版しました。

青柳教授にとっては7冊目の単



行本。主人公はピアニストを目指す高校生の真琴。ある日、風邪をこじらせ、声が出なくなってしまう。目的を失った彼女は学校を休学して田舎に帰ることに…。ピアニスト、文筆家でもある青

柳教授が多感な少女の心の揺れを、透明感あふれる筆致で描く青春音楽小説。

―初めての小説。きっかけは楽器に自分の「歌」を託したいという多くのピアニストの思いを普遍的に描きたかったからです。

―これまでのものとの違いは教育や親子関係の難しさなど、評論やエッセイでは取り上げにくい問題を書くことができました。

―これからの抱負は夏前にグレン・グールド論(筑摩書房)が出る予定です。こちらにもグールドの「秘められた歌」がテーマになると思います。

畠山歩美さんの 香港奮闘記

昨年11月に香港在住の日本人を中心に香港の人も加わったオケ同好会の定期演奏会がありました。私は客演として出演を依頼され、ブッチーニのオペラ・アリアを歌わせていただきました。人前で歌うのは2年ぶり。ハノイ日本人学校に赴任直後の09年5月に大阪で関西新人演奏会があり、それに出演して以来の演奏でした。日々の授業や仕事に追われ、練習



いただきました。

客席は地元の著名人、名だたる会社の役員、いろんな国の人たちで満席でした。演奏の後、大勢の方からお褒めの言葉をいただき、

合唱作品「伊勢物語」「鳥のうた」 諸橋玲子講師

諸橋玲子講師が、合唱作品の楽譜「伊勢物語 混声合唱のための」と「鳥のうた 女声合唱のための」を、マザーアース株式会社から出版しました。



版しました。

「伊勢物語」は、日本独自の美学(みやび)の世界に、新時代の

改めて音楽の凄さを感じることができました。音楽は世界の共通語であり、言葉の壁があっても、音楽があれば通じ合える、ということを実感しました。

「奮闘記」は今回で終了します

大阪音楽大学を卒業してからの2年間は、ハノイでも香港でも私にとっては激動の日々。毎日が挑戦でした。子どもたちや家族、教職員、そして現地の人たちから様々な刺激を受け、慣れない環境の中、

若々しい激しさを吹き込み、言葉から情感がほとばしる在原業平の和歌三首に作曲した作品。A4判28ページ、1995円。

みやびの世界と慈しみ

「鳥のうた」には、山歌集や万葉集の和歌を題材に自然を慈しむ心を表現した作品や、「囁き」や「話し声」を用い、鳥の鳴き声を通して生きるものの力強さを表現した作品が収められています。A4判58ページ、2730円。

楽譜購入ご希望の方は、マザーアース株式会社へ。
URL: <http://mother/earth/publicsinging.com/>

一人で生活してきました。辛いこともたくさんあり、何度も投げ出したくなることもありましたが、今こうやって振り返ってみると、これもまた良い経験でした。

2年間に渡って連載された私の「奮闘記」ですが、今回をもちまして最後の掲載とさせていただきます。読んでくださった「ミューズ」の読者のみなさまには心からお礼を申し上げ、これでペンを置かせていただきます。

「森・ピアノ」

ピアノリスト、作曲家として活躍する七ツ谷ゆみさん（86年短専修・ピアノ）が4枚目のアルバム「森・ピアノ」をリリースしました。小説「ノルウェイの森」に登場した曲、森をイメージした曲たち13曲が収められています。



七ツ谷ゆみさん

CONUNUS

藤田隆教授率いる「スーパーリコーダーカルテット」が待望の第2弾「Super Recorder Quartet vol.2」をリリースしました。

収録曲はバロックの大家テレマシンの「協奏曲 イ短調」、チャイコフスキーのバレエ組曲「くるみ割り人形」より小序曲、マッカーノン「ジャズ三景」など古典的な作品からメルヘンタッチの曲まで11曲。

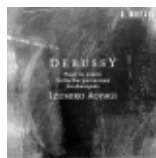


「Super Recorder Quartet vol.2」

スーパーリコーダーカルテット

ロマンティック・ドビュッシー

青柳いづみこ教授



青柳いづみこ教授のライフワークといえばドビュッシー。9枚目のこのアルバム「ロマンティック・ドビュッシー」は、彼の若き日の小品を取り上げ、秘められたロマンティシズムに焦点を当てた珠玉の一枚です。

ミュージック・ペンクラブ賞受賞

収録は「バラード」「マズルカ」「ピアノのために」「ベルガマスク組曲」「夜想曲」など9曲。評論家の濱田滋郎氏は月刊誌「レコード芸術」の中で「ニュアンスの深さ、鮮やかさから、古今一流の域に達した奏楽」と絶賛。2010年11月号で特選盤に選ばれています。これで青柳教授のアルバムは9枚のうち8枚が特選盤に選ばれたことになります。

発売元はカメラータ・トウキョウ。2940円。

「ロマンティック・ドビュッシー」が2010年度の第23回ミュージック・ペンクラブ音楽賞「録音・録画作品／日本人アーティスト」を受賞しました。

として流れ、曲の中に溶け込みます。ほかにフランス印象派の旗手M・ラヴエールが書いた「亡き王女のためのパヴァーヌ」、08年にフジテレビ系列で放送されたドラマ「風のガーデン」のテーマ曲「カンパニユラ」、サイモンとガーファングルでお馴染み「スカボロー」

「フェア」なども登場します。ボサノヴァからバラード、クラシックまで様々なタイプの曲もすべて七ツ谷さんのアレンジ。繊細なタッチと美しいメロディ・ラインが聴く人の心を癒してくれます。発売元はヤマハミュージックアンドビジュアルズ。21000円。

ア・カペラ版「冬の旅」



「冬の旅」は里井教授の企画で作曲家・千原英喜講師が全24曲を無伴奏混声合唱版に編曲。10年6月27日に大阪・いずみホールで世界初演、大阪文化祭受賞受賞作品

2月27日には神戸で再演11月7日に東京・津田ホールで再演され、話題になりました。

CDは東京公演をライヴ録音したもので、発売元はオクタヴィア・レコード。28000円。

2月27日には神戸松蔭女子学院大学チャペル（神戸市灘区）での再演が決まっています。

CD、チケットの申し込みはタロー事務局（TEL/FAX 0797・34・0128）へ。

大阪音楽大学後援演奏会

北浦洋子ヴァイオリンリサイタル
3月20日(日)15時 3500円
兵庫県立美術館アトリエ
ヴァイオリン 北浦洋子 ピアノ 藤井快哉
レスピーギ:ヴァイオリンソナタ (ほか)
☎078-805-6351 神戸コンサート協会

あらかしホールクラシック音楽祭
ウィーンの香り春風に奏せて
4月17日(日)14時 2000円
大淀町文化会館(あらかしホール)
バス 山本正三 ソプラノ 勝桂子
☎0747-52-5758 あらかしホール音楽祭実行委員会
東 健三
4月24日(日)14時30分
ムラマツリサیتالホール新大阪
前売3000円 当日3500円
クリグ:ヴァイオリンソナタ 第1番
ヴァイオリン 東健三 ピアノ 出戸由記子
☎06-6788-1576 東マネージメント



《幸楽会》後援演奏会

室内合奏団THE STRINGS第2回室内楽コンサート
「作曲家イヤーで耳なじみで震災チャリティ」
2月26日(土)18時30分 2000円
カトリック風川教会 地下聖堂
小澤沙緒里 上川忠昭 中川菜月 森左介
三井修平
☎078-203-8038 室内合奏団THE STRINGS

イブシロン オペラアカデミー
スプリングコンサート「歌のア・ラ・カルト」
3月4日(金)18時30分 3000円
兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院 小ホール
横田浩和 上山弥香子 梅谷幸子 宇留嶋美穂
大久保泰子 尾崎比佐子 康瑛 小村礼子
渡谷暢達 隅田あゆみ 茶園順子 土田景介
中川令子 森内美佳子 森原明日香 大西隆弘
☎0797-31-1768 イブシロンオペラアカデミー

服部亜美&砂田利章ジョイントコンサート
3月19日(土)18時30分
ムラマツリサیتالホール新大阪
前売1800円 当日2000円
服部亜美 砂田利章 秋本久美 飯野有加里
☎090-7043-3857 服部

林尚子&アンドレアス・ガハプカ
3月26日(土)19時 3000円
びわ湖ホール小ホール
☎075-251-1771 オフィス池山

有居恵・小林由佳・中田百合子
ジョイント・コンサート
3月27日(日)14時
兵庫県立芸術文化センター神戸女学院小ホール
一般2500円 学生1000円
☎050-7100-5282 フェーズ・コンサート企画

日本のこころ歌う会 in 春風コンサート
4月2日(土)14時 一般前売り1300円
当日1500円 小・中学生800円 当日1000円
高槻市生涯学習センター多目的ホール
リヒャルト・フランク 大峰かず子
☎050-3324-6802 シュテルンヘン

オーボエVファイブ Spring Concert
4月4日(月)18時30分
ミレニアムホール 一般3500円 学生2500円
4月7日(木)19時 トッパンホール 3500円
徳山奈美 高山郁子 吉井瑞穂 加納律子
佛田明希子
☎090-4492-8961 オーボエ・ファイブ

石田文子チェンバロ・リサイタル
4月26日(火)18時 入場無料
大阪音楽大学ミレニアムホール
ブクステフデ:プレリュード 短調 (ほか)
(問)fumikoishida328@hotmail.com

田中良和テノールリサイタル
4月30日(土)14時 宝塚ベガホール 3000円
田中良和 阪本朋子 辻本明日香
☎072-757-7373 小泉

幸楽会総会

4月29日(金・祝)14時
会場:ミレニアムホール

- ◇総会に続いて在学生アンサンブルコンサート開催
- ◇懇親会は15時半から学生サロン「ばうぜ」2階で開かれます。ふるってご参加ください。

本学卒業後、琉球放送でラジオ番組ディレクターをされている知念あかねさん(写真後列左から二人目)から、仲村志乃さん(99年院修オーボエ)や、徳元由加さん(97年大卒 クラリネット)ら、沖縄出身の音楽仲間と開いたコンサートを知らせるお便りが届きました。

2010年10月9日に沖縄県の読谷村で「仲村志乃オーボエコンサート」ゆかいな仲間との競演「世界音楽めぐり」と題したコンサートが行われました。読谷村出身の仲村さんは現在、ドイツで活躍中のオーボエ奏者。彼女の「音楽家として、次の世代を担う子どもたちに音楽の楽しさを伝えたい」という想いに賛同したピアノ・音楽・クラリネット・弦楽器などの音楽家が総勢12人。沖縄・大阪・



沖縄の子どもと共演

東京から集結しました。子どもが聞いて飽きないようにと短めの室内楽を数曲、そして読谷中央幼稚園・のぐさ保育園の子どもたちと「大きな古時計」や、沖縄県内で最も人気の高いBIG INの「島んちゅの宝」を共演しました。共演した子どもや会場の子どもたちの声も一緒にあった、元気な歌声が、読谷村が誇る素晴らしい「鳳ホール」に響き渡り、演奏終了後は割れんばかりの拍手をいただきました。子どもたちのために、私の音楽のルーツを作ってくれた音楽家たちのような存在にならなければと気づかされた、すてきな音楽会でした。

第44回 幸楽会コンサート



亡くなられた世界的ジャズ・ピアニスト、ハンク・ジョーンズ師を偲ぶプログラムが組まれました。第1部はニューヨークの夜景を思わせるライティングをバックに、

田中友輝子、晴雅彦、尾崎比佐子、平岡洋子、油井美加子、藤井快哉、木村貴子、關口康祐のみなさんが新春のステージを華やかに彩りました。

第2部は油井美加子、藤井快哉さんのピアノ・デュオで「ラプソディー・イン・ブルー」。力強く、かつ繊細なタッチでリリカルな音楽を生み出したハンク・ジョーンズ師を彷彿させる演奏でした。第3部はオペラ・ガラ。

第44回幸楽会コンサートが1月10日、ザ・カレッジ・オペラハウスで開かれました。今回は、本学でジャズ専攻が開講した92年に客員教授にお迎えし、昨年惜しくも

赤松二郎、河村直樹、木村知之、塩入基弘、藤井司朗、森宏のみなさんが「Interface by Hank Jones」など、ハンク・ジョーンズ師に捧げるジャズを演奏。

卒業生便り 知念あかねさん(96年短大卒ヴァイオリン)

本学卒業後、琉球放送でラジオ番組ディレクターをされている知念あかねさん(写真後列左から二人目)から、仲村志乃さん(99年院修オーボエ)や、徳元由加さん(97年大卒 クラリネット)ら、沖縄出身の音楽仲間と開いたコンサートを知らせるお便りが届きました。



「こどものミュージカル」 ～ファイナル公演～



付属音楽幼稚園のメイン行事といえば「こどものミュージカル」。昨年12月19日に第30回公演が行われましたが、会場の豊中市立市民会館が来年度から改修工事に入るため今回がファイナル公演となりました。満席の客席には卒園生たちも駆けつけ最後の舞台に惜しめない拍手を送っていました。

こどものミュージカルは幼稚園の研

究発表として81年2月にスタートしました。30年間に作られた作品は18本にのぼっています。

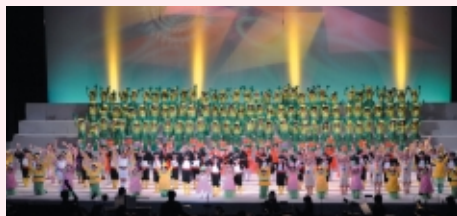
ファイナル公演の第1部は「思い出のミュージカル」ハイライト集。全園児279人が「アリとキリギリス」（鹿島正昭作曲）、「不思議の国のアリス」（森本友紀作曲）、「うらしまたろう」（熊谷美紀作曲）など7作品を再現しました。いつもなら年少組は客席

で鑑賞しますが、今回はさよなら公演とあって年少組も舞台に上がりました。

第2部は景山伸夫作曲の「おやゆび姫」。年長児80人、年中児97人が「むかしあるところに」「楽しくあそぼう」「つばめのワルツ」など25曲を元気に歌い、30年の幕を閉じました。衣裳づくりに汗を流したお母さんたち。今はいい思い出に。



30年の歴史 惜しまれながら



音楽博物館

MUSEUM OF THE OSAKA COLLEGE OF MUSIC

第67回ミュージアム・コンサート

「古典ピアノの魅力」—楽器がつたえる19世紀の響き—



2010年12月4日(土) お話と演奏:本岡浩子

ピアノは1700年頃に原型となる楽器が誕生し、その後約200年の間、様々な改良・発展を繰り返し、19世紀末に現代の姿になりました。それら発達過程にあったピアノを古典ピアノと呼んでいます。今回のコンサートでは、館蔵の古典ピアノの内、18世紀末のイギリス式、19世紀中期のウィーン式ピアノの音色をご披露しました。現代ピアノと異なり金属製のフレームを持たないため「木の響き」が美しく、作品の生まれた時代の音楽そのものがよみがえったような印象でした。

本岡浩子教授のピアノソロで、W.A.モーツァルト「ソナタト長調 K.283」、F.シューベルト「楽興の時」、R.シューマン「子どもの情景」など13曲、小玉晃講師(Br.)により、L.v.ベートーヴェン「君を愛す」、R.シューマン「詩人の恋」などが演奏されました。



*古典ピアノの試奏をご希望の方は、電話・メール等でお問い合わせください。

3月の催し

受講料:1000円

*事前の申し込みが必要です

第30回ミュージアム・セミナー

「メコン川が運ぶケーンの響き」

3月19日(土) 14時 お話:西岡信雄

演奏:ラオス伝統芸能団「ドクパーベッポントン」

ケーンは、メコン川を挟むラオス南部とタイ北部で使われている全長1メートルほどの笙。今回はケーンや8種類の伝統楽器とともに民謡やダンスをお楽しみください。

楽器を奏でる人形たち



アンデスのハーブ
19世紀ごろスペインから伝来した小型ハーブが、南米アンデス地方で土着化し、た楽器です。アルパと呼ばれる、フォルクロレ音楽に大活躍しています。

西岡信雄コレクションより(音楽博物館所蔵)

音楽博物館お問合わせ ☎06-6868-1509 FAX06-6865-1221
✉museum1@daion.ac.jp URL: http://daion.ac.jp/museum/